

よくある質問と回答(FAQ)

Autodesk® Softimage® 2012 には革新的な新しいクリエイティブ ツールセットが搭載され、相互運用性もいっそう強化されました。さらに今日の要求の厳しいテレビ、ゲーム、映画プロジェクトに対応できる強力な 3D ツールセットを導入し、既存のコンテンツ制作パイプラインの機能を拡張したいという制作会社からの新しい要求にも対応できます。

目次

1. 製品に関する一般情報	3
1.1 Softimage 2012 とは?	3
1.2 Softimage 2012 の主な特長は?	3
1.3 Softimage 2012 の発売日はいつですか?.....	3
1.4 Softimage 2012 のソフトウェア パッケージには何が含まれますか?.....	3
1.5 Softimage 2012 商用版のダウンロード販売はありますか?	4
1.6 オートデスク オンラインストアでの Softimage 2012 ライセンスの発売日はいつですか?....	4
1.7 Softimage 2011 へのアップグレードは、いつまで購入が可能ですか?.....	4
1.8 Softimage 2012 スタンドアロン版の価格は?.....	4
1.9 Softimage 2012 の体験版の提供予定はありますか?	4
1.10 製品パッケージに印刷マニュアルは付属していますか?	4
1.11 Softimage 2012 のソフトウェア パッケージにチュートリアルは付属していますか?	4
1.12 Softimage から Autodesk® Maya® Entertainment Creation Suite Premium 2012 または Autodesk® 3ds Max® Entertainment Creation Suite Premium 2012 に アップグレードすることはできますか?.....	4
1.13 Softimage 2012 には、英語以外の言語のバージョンはありますか?	4
1.14 Softimage Advanced 2010 は引き続き購入できますか?	4
1.15 Softimage Advanced 2010 のライセンスを購入しました。最新バージョンに アップグレードしたいと考えています。どのようなオプションがありますか?	4
2. テクノロジー	5
2.1 Softimage 2012 がサポートするオペレーティング システムは?.....	5
2.2 Softimage 2012 では、レンダリングに関する変更点はありますか?.....	5
2.3 mental ray Standalone の全バージョンが Softimage と互換しますか?.....	5
2.4 Softimage 2012 に付属している 4 個の mental ray Satellite ネットワークレンダリング ノードは、Softimage 2012 がサポートしているオペレーティング システムにインストール できますか?	5
3. インストール、構成、ライセンス	6
3.1 Softimage のライセンスを別のマシンに転送するにはどうしたらいいですか?	6
3.2 オンライン ライセンス トランスファーはどのように使用するのですか?	6
3.3 Softimage 2012 のライセンスングの方法を教えてください。.....	6
3.4 Softimage のコンポーネント(Softimage Composite やAutodesk MatchMover、Batch) は、インストールしないことも選択できますか?.....	6

3.5	Softimage Batch コンポーネントとは何ですか?.....	6
3.6	Softimage Batch コンポーネントを Softimage とは別のワークステーションにインストールすることはできますか?.....	6
3.7	私の Batch ライセンスはどのオペレーティング システムで使用できますか?	6
3.8	Softimage 2012 のネットワーク ライセンス版は販売されますか?.....	6
3.9	Softimage 2012 のネットワーク ライセンスは、Softimage 2012 がサポートしているすべてのプラットフォームで利用できますか?	6
4.	互換性と相互運用性	7
4.1	Softimage 2012 は他のオートデスク製品とどのように連携しますか?	7
4.2	Softimage 2012 は、旧バージョンの Softimage のファイル データをサポートしていますか?7	
5.	トレーニング、サポート	7
5.1	どのようなトレーニングがありますか?.....	7
5.2	Softimage のその他のドキュメントやトレーニング リソースはありますか?	7
5.3	Softimage のテクニカル サポートはどのように提供されますか?	7
6.	サブスクリプション.....	8
6.1	Autodesk Subscription Gold に含まれるサービスは?.....	8
6.2	Softimage 2012 の Autodesk Subscription Gold の価格は?	8
6.3	Softimage 2012 にアップグレードした場合、「現在のバージョン」とみなされ、Subscription Gold を購入できますか?.....	8
6.4	Subscription Gold の期限が切れた後、いつまでなら追加料金なしで更新できますか?	8
6.5	Subscription Gold のメンバー の Softimage 2012 のダウンロード開始はいつですか?	8
6.6	Autodesk Subscription Gold メンバーは、どのように Softimage 2012 ソフトウェアとライセンスを取得できますか?	8
6.7	アクティブな Subscription Gold のメンバーには、Softimage 2012 のソフトウェアパッケージが自動的に発送されますか?	9
6.8	Softimage Subscription Gold のサービスにはどのようにアクセスできますか?	9
6.9	Subscription Gold メンバーは、2012 以前のバージョンの Softimage にアクセスできますか?	9

1. 製品に関する一般情報

1.1 Softimage 2012 とは？

Autodesk® Softimage® 2012 には革新的な新しいクリエイティブ ツールセットが搭載され、相互運用性もいっそう強化されました。さらに今日の要求の厳しいテレビ、ゲーム、映画プロジェクトに対応できる強力な 3D ツールセットを導入し、既存のコンテンツ制作パイプラインの機能を拡張したいという制作会社からの新しい要求にも対応しています。

1.2 Softimage 2012 の主な特長は？

- **ノードベースの ICE (Interactive Creative Environment):** ICE は、カスタム ツール、ダイナミック エフェクト、高度なキャラクターリグ、プロシージャル モデルを、スクリプト コードを記述することなく作成、共有できる強力なプラットフォームです。柔軟で直感的なビジュアル プログラミング インタフェースを使用して新しい独創的なアイデアをより効率的により簡単に探究しながら、高性能の並列処理エンジンでインタラクティビティと生産性を大幅に向上させることができます。ICE FX Builder を使用すれば、アーティストは通常の編集ワークフローを用いてエフェクトの修正や調整を行えます。ICE のエフェクトは Autodesk® Maya® 2012 および Autodesk® 3ds Max® にエクスポートできます。
- **Softimage® Face Robot® ツールセット:** Softimage は、3D キャラクタの多様な表情のリギング、アニメートをよりすばやく簡単に行えるプロ仕様のソリューション、Face Robot ツールセットを搭載しています。Face Robot があれば、ゲームやビジュアル エフェクトのプロフェッショナルは生き活きとしたフェイシャル アニメーションをスピーディーに作成できるほか、自動リップシンク機能を利用してオーディオ ファイルからフェイシャル アニメーションを生成できます。解析済みの Face Robot の頭部データを Maya 2012 にエクスポートすれば、より柔軟にリアルなキャラクタを作成できます。
- **Autodesk Entertainment Creation Suite の統合ワークフロー:** Autodesk® Entertainment Creation Suite Premium 2012 に含まれる Maya または 3ds Max、Autodesk® MotionBuilder® 2012、Autodesk® Mudbox™ 2012 と Softimage との統合ワークフローを活かしてパイプラインの機能を拡張できます。Softimage のシーン要素を Mudbox 2012 にエクスポートして緻密で有機的なスカルプトやペイントを直感的に行い、再度 Softimage のシーンをワンステップでアップデートできます。また、リギングが完了した Face Robot メッシュを Maya 2012 にインポートしたり、Maya 2012 と 3ds Max 2012 のシーンで Softimage の ICE パーティクル システムをわずか数回のクリックで利用することも可能です。さらに、Autodesk® FBX® 2012 および Autodesk® Crosswalk テクノロジーを使用すれば、3D ジオメトリ、アニメーション、マップ データをスイート製品やサードパーティ製のアプリケーションとやり取りすることができます。
- **制作現場で証明された定評あるソリューション:** 競争の激化と厳しい納期に加え、品質に対する視聴者の高まる期待に応えるため、アーティストはよりクリエイティブなコンテンツをこれまで以上に短い時間で仕上げなくてはなりません。Softimage の高度なクリエイティブ ツール、効率的なシーン管理ツール、非破壊ワークフロー、コラボレーション ワークフローを使用すれば、生産性を最大限に高めることができます。また、Python® スクリプト言語を使って繰り返しの作業を自動化することも可能です。これらの理由から、Softimage はエンターテインメント業界トップの 3D 制作ツールとして、数々の受賞歴を誇る映画スタジオ、ゲーム開発会社、テレビ制作会社で広く利用されています。

1.3 Softimage 2012 の発売日はいつですか？

Softimage 2012 は、2011 年 4 月 8 日に出荷開始の予定です。Autodesk® Subscription メンバーのお客様の Softimage 2012 のダウンロードは、2011 年 4 月 8 日に開始予定です。

1.4 Softimage 2012 のソフトウェア パッケージには何が含まれますか？

Softimage 2012 のソフトウェア パッケージには、以下のコンポーネントが収録された DVD 1 枚が含まれています。

- 各種プラットフォーム(Windows® 32 ビット、Windows/Linux® 64 ビット OS)用の Softimage ソフトウェア
- Softimage® Composite および Autodesk® MatchMover™
- mental ray® Satellite renderer for Softimage
- Softimage Batch プロセッシング*

*Softimage バッチ レンダリングはネットワーク ライセンスでのみ利用できます。

1.5 Softimage 2012 商用版のダウンロード販売はありますか？

いいえ。オートデスク オンライン ストアではパッケージ販売を行います。

1.6 オートデスク オンラインストアでの Softimage 2012 ライセンスの発売日はいつですか？

オートデスク オンラインストアでの Softimage 2012 の新規ライセンスは、2011 年 4 月 8 日に販売開始の予定です。

1.7 Softimage 2011 へのアップグレードは、いつまで購入が可能ですか？

Softimage 2011 へのバージョン アップグレードは 2011 年 4 月 30 日までの対応となります。それ以降は Softimage 2011 へのアップグレードはできません。

1.8 Softimage 2012 スタンドアロン版の価格は？

スタンドアロン版の日本での希望小売価格は 577,500 円(税込)です。またネットワーク ライセンス版は 724,500 円(税込)です。

1.9 Softimage 2012 の体験版の提供予定はありますか？

はい。Softimage 2012 の 30 日間製品体験版(無償)* は、www.autodesk.co.jp/softimage-trial でダウンロードできます。

体験版は Softimage ソフトウェアのフル機能バージョンで、非商用目的に限り 30 日間無償でご利用いただけます。

*無償製品の使用にあたってはソフトウェアに付属のエンドユーザ向け使用許諾契約に同意いただく必要があります。

1.10 製品パッケージに印刷マニュアルは付属していますか？

いいえ。Softimage 2012 のマニュアルは基本的に Web ベースで提供されます。

1.11 Softimage 2012 のソフトウェア パッケージにチュートリアルは付属していますか？

はい。Softimage 2012 商用版およびアップグレード版にはチュートリアルが付属する予定です。

1.12 Softimage から Autodesk® Maya® Entertainment Creation Suite Premium 2012 または Autodesk® 3ds Max® Entertainment Creation Suite Premium 2012 にアップグレードすることはできますか？

はい。Softimage 2012 のお客様、あるいは過去 3 バージョンいずれかのライセンスをお持ちのお客様であれば、Autodesk Maya Entertainment Creation Suite Premium 2012 または Autodesk 3ds Max Entertainment Creation Suite Premium 2012 へのアップグレード ライセンスをご購入いただけます。ただし、Softimage Advanced 7.5 もしくは Softimage Advanced 2010 のライセンスをお持ちのお客様は Softimage 2012 へアップグレードしてからスイート製品にアップグレードしてください。詳細は、オートデスク認定販売パートナーへお問い合わせください。

1.13 Softimage 2012 には、英語以外の言語のバージョンはありますか？

はい。Softimage 2012 は、日本語メニューと英語メニューが切り替え可能なハイブリッド パッケージです。

1.14 Softimage Advanced 2010 は引き続き購入できますか？

いいえ、Autodesk® Softimage® Advanced 2010 の購入はできません。Softimage 2012 には Softimage Advanced 2010 の機能が組み込まれています。

注: Softimage 2012 ネットワーク ライセンス版のみで 5 つの Batch ノードを使用できます。

1.15 Softimage Advanced 2010 のライセンスを購入しました。最新バージョンにアップグレードしたいと考えています。どのようなオプションがありますか？

Softimage Advanced 2010 をお使いのお客様は Softimage 2012 にアップグレードできます。詳細は、オートデスク認定販売パートナーへお問い合わせください。

2. テクノロジー

2.1 Softimage 2012 がサポートするオペレーティング システムは？

32 ビット 版の Softimage 2012 は、以下のオペレーティング システムに対応しています。

- Microsoft® Windows® 7 Professional
- Microsoft® Windows Vista® Business (SP2)
- Microsoft® Windows® XP Professional (SP3)

64 ビット 版 Softimage 2012 は、以下のオペレーティング システムに対応しています。

- Microsoft Windows 7 Professional (推奨 OS 64 ビット Windows)
- Microsoft Windows Vista Business x64 (SP2)
- Microsoft Windows XP x64 Edition (SP2)

オートデスクは、サードパーティのハードウェアベンダーまたはソフトウェアベンダーが発行した、本ドキュメントで動作が確認されているとしたソフトウェアまたはハードウェア用(あるいは、ユーザがオートデスク製品と関連して使用する、その他のすべてのサードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェア用)のアップデート、エクステンション、または新リリースをインストールしたことによって発生した、オートデスクソフトウェアの不具合について責任を負いません。

2.2 Softimage 2012 では、レンダリングに関する変更点はありますか？

はい。Softimage 2012 は、最新の mental ray 3.9 レンダラ コア ライブラリを使用します。

2.3 mental ray Standalone の全バージョンが Softimage と互換しますか？

いいえ。Softimage 2012 と互換性があるのは、mental ray Standalone 2012 だけです。詳細は、オートデスクの Web サイト(<http://www.autodesk.com/mentalray>)に掲載されている互換性チャート([Compatibility Chart](#))を参照するか、オートデスク 認定販売パートナーにお問い合わせください。

2.4 Softimage 2012 に付属している 4 個の mental ray Satellite ネットワーク レンダリング ノードは、Softimage 2012 がサポートしているオペレーティング システムにインストールできますか？

はい。4 つの mental ray Satellite ネットワーク レンダリング ノードは、Windows 32 ビット/64 ビット プラットフォームにインストールできます。

3. インストール、構成、ライセンスング

3.1 Softimage のライセンスを別のマシンに転送するにはどうしたらいいですか？

オンライン ライセンス トランスファーは、柔軟で便利な Web ベースのメカニズムで、ドングルを使わずに異なるマシンにスタンドアロン ライセンスを転送できます。この基本機能は、追加料金なしで使用でき、転送回数に制限はありません。

3.2 オンライン ライセンス トランスファーはどのように使用するのですか？

Web インタフェースを使用してオンライン ライセンス トランスファー システムにログオンし、現在のマシンのソフトウェアのライセンスを非アクティブにした後、別のマシンで再度ライセンスをアクティブにします。

3.3 Softimage 2012 のライセンスングの方法を教えてください。

Softimage 2012 のライセンスは AdLM (Autodesk License Manager)を使用します。

注: 必要なライセンスは 1 ライセンスだけです。Softimage 2012 の各コンポーネント(Softimage、Softimage Composite、Autodesk MatchMover、Softimage Batch)で同一のライセンスを使用します。

3.4 Softimage のコンポーネント(Softimage Composite や Autodesk MatchMover、Batch)は、インストールしないことも選択できますか？

はい。Softimage 2012 のインストール時に、インストールする Softimage コンポーネントを選択できます。また、この時点でインストールしなかったコンポーネントを後からインストールすることもできます。

3.5 Softimage Batch コンポーネントとは何ですか？

Softimage Batch は、Softimage をコマンドライン モードで実行するためのコンポーネントです。

3.6 Softimage Batch コンポーネントを Softimage とは別のワークステーションにインストールすることはできますか？

はい。Softimage (および Softimage Batch)は、Softimage がサポートしている構成およびオペレーティング システム上にインストールできます。

注: Softimage Batch はネットワーク ライセンス版でのみ利用できます。

3.7 私の Batch ライセンスはどのオペレーティング システムで使用できますか？

Batch ライセンスは Softimage がサポートしているすべての構成およびオペレーティング システムで使用できます。

3.8 Softimage 2012 のネットワーク ライセンス版は販売されますか？

はい。ネットワーク ライセンスは、ネットワーク上のサポートされている各種ワークステーション構成 (Windows オペレーティング システム)で利用できます。ただし、Softimage 2012 と Softimage Composite および MatchMover コンポーネントは同じライセンスを共有するため、別々のワークステーションで同時に使用することはできません。

3.9 Softimage 2012 のネットワーク ライセンスは、Softimage 2012 がサポートしているすべてのプラットフォームで利用できますか？

はい。Softimage 2012 のネットワーク ライセンスは、Windows 32 ビット/64 ビットのプラットフォームにインストールできます。

4. 互換性と相互運用性

4.1 Softimage 2012 は他のオートデスク製品とどのように連携しますか？

Softimage 2012 は、Autodesk® FBX® 2012 データ交換フォーマットと nCache を基盤とする、ワンステップの相互運用性を活かして、Autodesk® Maya® 2012、Autodesk® 3ds Max® 2012、Autodesk Mudbox™ 2012 とコンテンツをやり取りできます。また、FBX データは Autodesk® MotionBuilder® 2012 でも使用できます。さらに、Softimage は Autodesk® Crosswalk テクノロジーを介して COLLADA および dotXSI 標準にも対応します。

4.2 Softimage 2012 は、旧バージョンの Softimage のファイル データをサポートしていますか？

はい。Softimage 2012 は、Softimage 5.11 から Softimage 2012 で作成された .scn データおよび .emdl データにアクセスできます。

5. トレーニング、サポート

5.1 どのようなトレーニングがありますか？

オートデスクの Web ページ(<http://www.autodesk.co.jp/softimage-training>)に、ダウンロード可能な各種 Softimage トレーニング リソースが掲載されています。

5.2 Softimage のその他のドキュメントやトレーニング リソースはありますか？

はい。Softimage Wiki は、Softimage ユーザのためのコミュニティです。サポート情報、チュートリアル、ドキュメントのアップデート、スクリプティングのヒントとテクニック、すべてのレベルの Softimage ユーザに役立つ数多くの記事が掲載されています：

<http://softimage.wiki.softimage.com>

この他に Softimage のテクニカルな情報が必要な場合は、以下のリソースにお問い合わせください。

サポート ブログ(英語): <http://xisupport.wordpress.com>

サポートビデオと FAQ: <http://autodesk.co.jp/softimage-support>

YouTube チャンネル: <http://www.youtube.com/user/SoftimageHowTos>

Autodesk Japan YouTube チャンネル: <http://www.youtube.com/user/AutodeskJapan>

AREA JAPAN: <http://area.autodesk.jp>

5.3 Softimage のテクニカル サポートはどのように提供されますか？

Softimage 2012 ソフトウェアを新規にご購入のすべてのお客様は、認定販売パートナーによる登録日から 30 日間無償の「スタートアップ」(Up & Ready)サポートを利用いただけます。サポート内容は、インストールおよびライセンスの問題に限られます。

Softimage の Autodesk Subscription Gold をご契約のお客様は、これに加えて認定販売パートナーによる製品技術サポートを受けられます。

6. サブスクリプション

6.1 Autodesk Subscription Gold に含まれるサービスは？

Autodesk Subscription Gold をご契約のお客様は、契約期間中、最新のリリースをご利用いただけます。これにはメジャー リリースと Autodesk® Subscription Advantage Pack (旧 Extension)、認定販売パートナーによる製品技術サポート、学習リソースが含まれるほか、Softimage の特定の旧バージョンも利用できます。

注: お客様は、すべての Softimage シート(スタンドアロン ライセンスかネットワーク ライセンスかを問わず)について Autodesk Subscription Gold に契約いただく必要があります。その条件にない場合には、Autodesk Subscription Gold をご利用いただくことができません。

6.2 Softimage 2012 の Autodesk Subscription Gold の価格は？

日本での希望小売価格は 226,800 円(税込)です。

6.3 Softimage 2012 にアップグレードした場合、「現在のバージョン」とみなされ、Subscription Gold を購入できますか？

はい。Softimage 2012 へのアップグレード ライセンスを購入されたお客様は「現在のバージョン」を保持するユーザとみなされ、Subscription Gold を購入できます。オートデスクでは原則として、Subscription Gold をライセンス購入時に同時購入していただくことにしています。Subscription Gold とライセンスを一緒に購入しなかった場合は、以下のルールが適用されます。

- 現バージョンの製品に限り、Subscription Gold を後付けで最長 1 年間契約することができます。このとき、Subscription Gold の契約開始日はライセンスの購入日となります。また、購入後 30 日を過ぎてから後付け契約を行う場合でも再契約手数料は発生しません。

6.4 Subscription Gold の期限が切れた後、いつまでなら追加料金なしで更新できますか？

契約満了日から 30 日以内であれば、追加料金なしに Autodesk Subscription Gold 契約を更新できます。

注: 満了日から 31 日 ~ 364 日が経過している契約については、以下の条件に従って期限切れ更新手続きを行うことができます。

- ライセンスを使用する Softimage のすべてのシートに対して Autodesk Subscription Gold の更新料および再契約手数料を支払わなければなりません。

注: 満了日から 365 日以上が経過している契約については更新できません。

6.5 Subscription Gold のメンバー の Softimage 2012 のダウンロード開始はいつですか？

Softimage 2012 ソフトウェアの Subscription センターからのダウンロードは、2011 年 4 月 8 日に開始される予定です。対象は、Autodesk Subscription Gold をご契約のお客様となります。

6.6 Autodesk Subscription Gold メンバーは、どのように Softimage 2012 ソフトウェアとライセンスを取得できますか？

Autodesk Subscription Gold の現行メンバーに対しては、サブスクリプションの契約管理者様およびソフトウェア コーディネータ様宛てに、オートデスクからダウンロード ページのリンクが記載された電子メールを送信します。このページにアクセスするためには、Subscription センターのアカウント情報でログインし、該当製品をダウンロードしていただく必要があります。

注: Softimage 2012 のドキュメントはオンラインで提供されます。日本語版ドキュメントのダウンロード開始日は 2011 年 7 月上旬を予定しています。

6.7 アクティブな Subscription Gold のメンバーには、Softimage 2012 のソフトウェア パッケージが自動的に発送されますか？

Subscription Gold のお客様は、Softimage 2012 の出荷開始時点で Autodesk Subscription Gold 契約が有効であれば、Softimage 2012 の権利を有することになります。該当するお客様には、自動的に Softimage 2012 ソフトウェア パッケージをお届けします。また、Subscription センターからダウンロードすることも可能です。

注: Softimage 2012 ソフトウェア パッケージの出荷開始日は 2011 年 4 月 8 日以降を予定しています。

6.8 Softimage Subscription Gold のサービスにはどのようにアクセスできますか？

Subscription Gold サービスへのアクセスを開始するには、Subscription センター (<http://www.autodesk.com/subscriptionlogin>) にサインインするだけです。

6.9 Subscription Gold メンバーは、2012 以前のバージョンの Softimage にアクセスできますか？

はい。限定された旧バージョンの Softimage の使用は、Subscription Gold メンバーのお客様だけの特典です。

Softimage 2012 についての詳細は、オートデスクの Web サイトの製品ページ (<http://www.autodesk.co.jp/softimage>) を参照してください。

Autodesk、Face Robot、FBX、MatchMover、Maya、MotionBuilder、Mudbox、Softimage、3ds Max は、米国および/またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。mental ray は独 mental images GmbH の登録商標で、Autodesk, Inc. はその使用許可を得ています。Python は Python Software Foundation の登録商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。オートデスクは、通知を行うことなくいつでも該当製品およびサービスの提供、機能および価格を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。© 2011 Autodesk, Inc. All rights reserved.